

第149期 中間報告書

2009年4月1日～2009年9月30日



OAK
CAPITAL

Oak キャピタル株式会社 証券コード：3113

<http://www.oakcapital.jp/>

〒107-0052 東京都港区赤坂八丁目10番24号 住友不動産赤坂ビル
本 社 TEL.03-5412-7474 FAX.03-5412-8282
投資事業本部 TEL.03-5412-7700 FAX.03-5412-8811

Oak キャピタル株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素より温かいご支援と格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第149期中間報告書をお届けするにあたり、ここに謹んで挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の在庫調整の一巡や政府の経済対策の効果により、輸出や鉱工業生産で改善の動きが見られたものの、企業の生産活動が依然として低い水準にあることから雇用情勢の悪化が懸念され、加えて、急速な円高の進行や世界景気の下振れ懸念等もあり、引き続き厳しい状況が続いております。

しかしながら、当社は2年間にわたる諸々の環境変化を踏まえ、将来のリスク対応力を高めるために投資資産を全面的に見直し、その結果、既に前期末をもち収益構造の改善を完了いたしました。

このような状況のなか、当社業績につきましては、インベストメントバンキング事業での投資業務が順調に進捗し、また、アドバイザー・サービス事業につきましても、国内外の有力企業とアドバイザー契約を締結し、企業再編コンサルティング等に取り組んでまいりました。さらに、本社運営コストの見直し等による経費削減にも努めてまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、黒字転換するとともに大幅に改善いたしました。

世界的な経済危機を経た現在の株式市場においては、既存銘柄には割安となった投資対象が数多く存在し、また、IPO市場も新規上場企業数は減少するものの、厳選された、真の成長性を有する企業が公開する、健全なマーケットとなりました。

投資会社にとって新たな好機である現在の環境を当社は前向きに捉え、投資ポートフォリオの充実に向け、投資先候補の調査を精力的に進めております。

投資再開の皮切りとして、先般、米国の優良ベンチャー企業の株式を取得し、また、国内上場会社への支援投資も行っております。

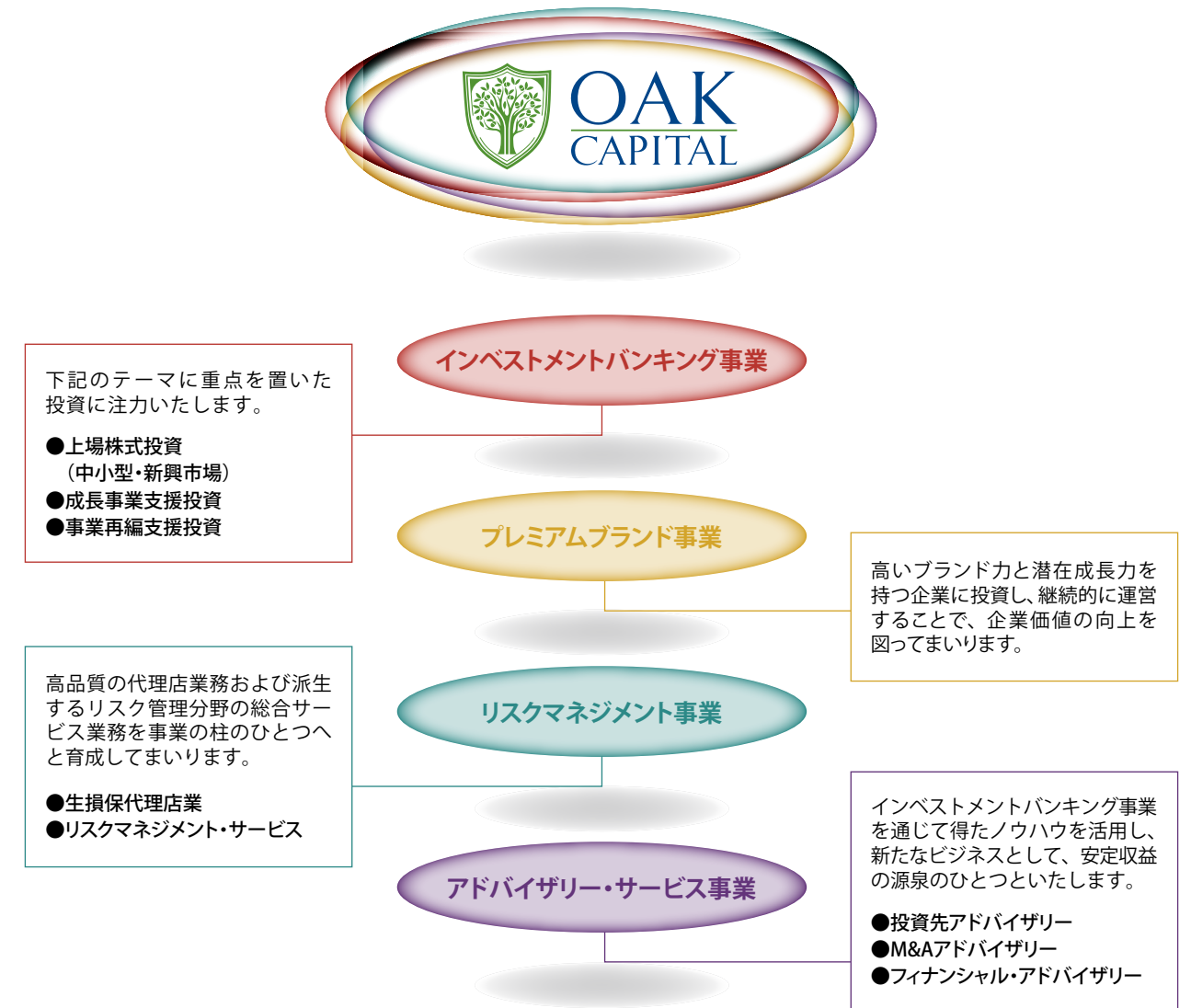
今後、内外投資家とも連携を図り、外部環境等にも留意しながら、優良案件への投資を積極的に増やしてまいります。それらの優良な投資資産が将来に向けての当社の成長と収益の源泉につながり、早期に株主の皆様のご期待に応えることのできるよう、鋭意邁進してまいります。

引き続きご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成21年12月
代表取締役会長兼CEO 竹井博康

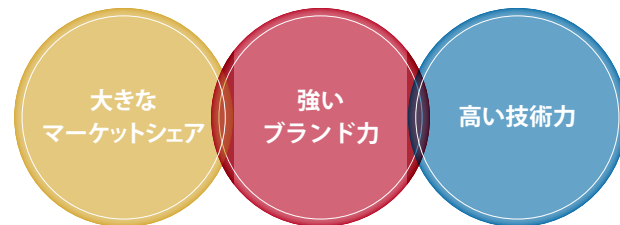
事業領域

インベストメントバンキング事業を柱にしながら、当社グループの経営資源を有効に活用する事業を展開しております。



主な出資先企業のご紹介

投資対象に関しては、下記の強みを有することを条件とし、投資判断を行っております。



投資類型（テーマ）

企業の潜在的な成長力を評価し、その将来性に投資し支援することにより、投資先と共に成長することが当社の基本方針です。

■上場株式投資（中小型・新興市場）

上場会社には成長力を有しながらも現在の経済環境によって、資金調達の制約から積極的な事業展開ができていない中堅企業が数多く存在します。それら企業の需要に応えるため、成長支援のための投資を行ってまいります。

■成長事業支援投資

米国のサブプライム問題に端を発する金融危機と、それを契機とする環境の変化が投資事業の本来のあり方についての認識を改め直させ、今後は長期的な視点に立ち企業の成長を支援する投資が時代の潮流となると考えております。

当社は今後、投資先の成長支援に主眼を置き、投資先同士のシナジーや事業パートナー（非投資先）企業の知恵とノウハウを活用し、事業育成を進めてまいります。

■事業再編支援投資

厳しい経営環境のなか、あらゆる業界において競争力強化と生き残りのための再編動機は根強く、最近の M&A 件数の落ち込みは一時的な傾向にとどまるものと考えております。当社は今後の事業再編の動きが再び活発化するとの見通しから、再編支援を目的とした投資やコンサルティングの比重を高め、現在の経営環境をビジネスチャンスに転換できる提案を行ってまいります。



ブランド企業への支援投資

クリストフルジャパン株式会社

<http://www.christofle.com>

シルバーウェア最高級ブランドの老舗メーカー

Christofle

クリストフル社は、19世紀より世界的に知られてきたシルバーウェアの老舗メーカーです。ルイ・フィリップやナポレオン3世の宮廷御用達業者をつとめ、オペラ座の屋上装飾を施す等、多くの偉業を残してきました。銀製品の歴史を塗り替え続けてきた、優良ブランドの圧倒的な存在感を放つクリストフル社製の銀製品は、現在も世界のトップクラスのカトラリー（食器類）であり、銀食器の代名詞として尊重されています。エリゼ宮をはじめ、パリの五つ星ホテル「ホテル・リッツ・パリ」をはじめとする国内外の最高級ホテルや一流レストラン、豪華客船などで使用されています。



株式会社 山田平安堂

<http://www.heiando.com>

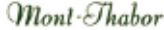
宮内庁御用達の老舗、高級漆器販売の最大手

宮内庁御用達 漆器 山田平安堂 YAMADA HEIANDO

宮内庁御用達の老舗として、広く知られる漆器専門店です。代官山本店や成田空港店など、直営部門を強化するとともに、国内流通部門の大胆な改革、米国など海外販路の開拓、ネット販売の拡大などにも取り組み、また、調達面では産地との直接取引を含む垂直統合を進めるなど、業界トップの地位に安住することなく、常に自己革新を図っております。ライフスタイルの変化にともない、わが国の伝統産業が衰退傾向にあるなか、同社では、「伝統産業の持続的な発展に貢献する」ことを社是に掲げ、常に新しい価値を提供し続けています。



味岡  業界最大手の国内外の有名ブランドの皮製財布・小物等の製造・卸・販売	キャドセンター  CG 映像の技術開発とコンテンツ制作	日本コーバン  ホログラムフィルム、レンチキュラー製品の販売、舞台照明機等の販売等
五輪パッキング  家電製品、ハイクテ製品等の防塵、緩衝、絶縁用など、各種パッキングの製造・販売	ゴンゾロッソ  オンラインゲームの運営	ジー・コミュニケーション  多業態の直営およびフランチャイズ展開
共冷  鮮魚および冷凍魚の販売、自社ブランドの水産加工製品の専門商社	京写  [JASDAQ 6837] プリント配線基板の製造・販売	ケー・レーザー・テクノロジー  [台湾証券取引所 2461] 台湾 ホログラム・フィルム、セキュリティ関連商品等の製造・販売
バイオセンサーズ・インターナショナル (シンガポール証券取引所 (SGX) メインボード) 米国  心臓病治療に使用されるステント等の医療器具の開発及び製造・販売	ダイフレックスホールディングス  防水技術・ウレタン防水建材のトップメーカー	ICS ガーランド 米国  米国トップクラスの技術を持つ建築用床材メーカー
恒和化学工業  国内トップクラスの外壁用水性塗料メーカー	BSL インシュアランス  総合的なリスク・マネジメントサービスの展開	サイトライングループ 米国  ソリューションプロバイダー
Askair Technologies AG スイス  プラズマ技術開発	ケー・レーザー・チャイナ 中国  中国でのホログラム事業の展開	ジー・ネットワークス  [東証 2 部 7474] オリエンタルフーズのトータルサービス
タケシバ電機  電子機器の設計・製造・販売	ジェイコムさいたま  ケーブルテレビ事業	イーバンク銀行  ネットバンキング大手

アパマンショップ HD  [大証ヘラクレス 8889] 賃貸斡旋・管理、投資不動産業務等	朝日インテック  [JASDAQ 7747] 医療機器の開発・製造・販売 極細ステンレスワイヤーロープ及び端末加工品等の開発・製造・販売	三光ソフラン HD  注文建築、分譲住宅販売、資産運用コンサルティング
ステムセルサイエンス  幹細胞に関する新規基盤技術の創出と再生医療の実現を目指す	モデリスタ  印刷ビジネス	マルキン忠勇  [大証 2 部 2538] 調味料(醤油、だし)、アルコール類、健康飲料などを扱う食品メーカー
東京衡機製造所  [東証 2 部 7719] 試験・計測機器の開発設計・製造	アルデプロ  [東証マザーズ 8925] 不動産業界のイノベーター	ビーアイジーグループ  [JASDAQ 9439] マーチャントバンキングへの事業転換により業績拡大を目指す
常楽酒造  本格焼酎(球磨焼酎)と各種リキュール酒の製造・販売	キュービーネット  ヘアカット専門店チェーンの最大手	ADIRON  オリジナル・インポートなどのブランドバッグを企画・販売
モンタボー  高級ベーカリーチェーン	フレパー・ネットワークス  情報・通信サービスの先端企業	テレマン・コミュニケーションズ  通信衛星システム、情報機器の開発・製造・販売
ユニオン  建設環境金属製品の製造・販売	ケイテックデバイシーズ  電子部品の製造・販売	スーパーウェーブ  個人認証技術
Oak キャピタル 1 号ファンド 出資者：りそな銀行・みずほ証券 業績回復、成長鈍化からの脱却、事業再編・事業再構築、事業継承、その他企業価値増大を図る企業を対象にした投資ファンド。Oak キャピタルおよび LP が持つ顧客企業のネットワークから、そのニーズに応えるパイアウトを行い、事業戦略立案・実行、経営人材の確保、取引先紹介など、状況に合わせた様々なバリューアップを実施する。		
Pacifica ファンド 米国 IT 企業や材料化学企業に特化したシリコンバレーの投資ファンド。Oak キャピタルは Limited Partner として参加。		

- ・EXIT 完了後のものを含む過去から現在までの主な投資先 (社名等は投資実行当時のもの) を掲載しております。
- ・ファンド等を経由の間接保有のものを含みます。

連結貸借対照表 2009.9.30 (単位：百万円)

科 目	当中間期	前期
資産の部		
流動資産	3,111	2,392
現金及び預金	293	310
受取手形及び売掛金	1,229	182
営業投資有価証券	1,033	1,285
商品及び製品	208	276
短期貸付金	315	315
その他	38	31
貸倒引当金	△ 6	△ 8
固定資産	578	611
有形固定資産	78	93
無形固定資産	10	12
投資その他の資産	488	505
資産合計	3,696	3,004

注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

◎連結財政状態

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前期末に比べ、6億92百万円増加し36億96百万円となりました。増加した主な要因は、大型EXIT（投資回収）の成約により、売掛金が増加したためであります。負債につきましては、前期末に比べ、40百万円減少し6億25百万円となりました。減少した主な要因は、連結子会社が短期借入金を一部返済したことによるものであります。純資産につきましては、7億32百万円増加し30億70百万円となりました。

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前期
負債の部		
流動負債	532	558
支払手形及び買掛金	34	30
短期借入金	327	386
1年内返済予定の長期借入金	30	40
その他	140	101
固定負債	93	107
長期借入金	32	20
退職給付引当金	58	83
その他	3	3
負債合計	625	666
純資産の部		
株主資本	2,623	2,378
資本金	3,042	3,042
資本剰余金	1,541	1,541
利益剰余金	△ 1,950	△ 2,196
自己株式	△ 9	△ 9
評価・換算差額等	△ 59	△ 165
新株予約権	5	－
少数株主持分	501	126
純資産合計	3,070	2,338
負債純資産合計	3,696	3,004

注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

連結損益計算書 2009.4.1-2009.9.30 (単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
売上高	1,741	1,903
売上原価	562	1,231
売上総利益	1,178	672
販売費及び一般管理費	562	1,192
営業利益（△損失）	616	△ 520
営業外収益	26	53
営業外費用	10	30
経常利益（△損失）	631	△ 497
特別利益	23	8
特別損失	41	14
税金等調整前四半期純利益（△損失）	613	△ 502
法人税、住民税及び事業税	1	1
法人税等調整額	△ 4	△ 1
少数株主利益（△損失）	370	△ 13
四半期純利益（△損失）	245	△ 488

注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

◎連結経営成績

連結業績におきましては、インベストメントバンキング事業で、大型EXIT（投資回収）が成約し、当社及び当社連結子会社であるOakキャピタル1号投資事業有限責任組合が連結業績に大きく貢献いたしました。また、アドバイザー事業につきましては、国内外の有力企業とアドバイザー契約を締結し、企業再編コンサルティングに取り組んでまいりました。さらに、当社におきまして、本社運営コストの見直し等による経費削減にも努めてまいりました。以上により、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高17億41百万円（前年同四半期比、1億62百万円減）、営業利益6億16百万円（同、11億36百万円増）、経常利益6億31百万円（同、11億28百万円増）、四半期純利益2億45百万円（同、7億34百万円増）と黒字転換するとともに大幅に改善いたしました。

連結キャッシュ・フロー計算書 2009.4.1-2009.9.30 (単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
営業活動によるキャッシュ・フロー	7	2,094
投資活動によるキャッシュ・フロー	36	754
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 54	△ 4,207
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 7	16
現金及び現金同等物の減少額	△ 17	△ 1,340
現金及び現金同等物の期首残高	295	1,923
現金及び現金同等物の四半期末残高	278	582

注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

〈営業活動によるキャッシュ・フロー〉

営業活動によるキャッシュ・フローは、当第2四半期連結累計期間において7百万円のキャッシュ・インフローとなりました。主な要因は、保有株式のEXIT（投資回収）が計画どおり進んだことなどにより、税金等調整前四半期純利益を計上したことなどによるものでありますが、一部の大型EXIT（投資回収）の約定が当第2四半期連結会計期間末に確定し、それに係る資金回収が翌四半期連結会計期間（平成21年10月20日回収済み）となったため営業活動によるキャッシュ・インフローは7百万円に留まりました。

〈投資活動によるキャッシュ・フロー〉

投資活動によるキャッシュ・フローは、当第2四半期連結累計期間において36百万円のキャッシュ・インフローとなりました。その主な要因は、当社の本社フロアの統合に伴う差入保証金の一部回収及び長期貸付金の回収によるものであります。

〈財務活動によるキャッシュ・フロー〉

財務活動によるキャッシュ・フローは、当第2四半期連結累計期間において54百万円のキャッシュ・アウトフローとなりました。その主な要因は、借入金の純減によるものであります。

発行可能株式総数

600,000,000 株

発行済株式の総数

212,324,287 株

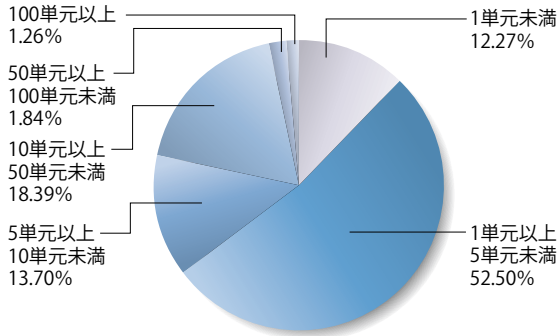
株主数

19,138 名

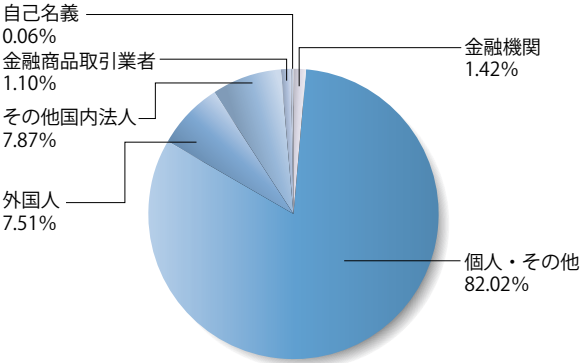
大株主 上位 10 位

株主名	所有株式数	持株比率
エスアイエックス エスアイエス エルティーディー	12,037 千株	5.67%
竹井 博康	8,753	4.12
エルエムアイ株式会社	8,530	4.02
株式会社 三博商会	2,951	1.39
日本証券金融株式会社	2,879	1.36
個人株主	2,100	0.99
イーエフジーバンク アーゲー ホンコン	1,724	0.81
個人株主	1,648	0.78
個人株主	1,200	0.57
個人株主	1,015	0.48

所有株式数別株主数分布状況



所有者別株式数分布状況



会社概要

商 号	Oak キャピタル株式会社	市 場	東証第二部（上場 1949 年）
創 業	1868 年	主幹事証券	大和証券 SMBC
設 立	1918 年	会計監査人	監査法人 日本橋事務所
資 本 金	30 億 42 百万円	取 引 銀 行	三井住友銀行、三菱東京 UFJ 銀行 みずほコーポレート銀行

役員

代表取締役会長 兼 CEO	竹 井 博 康	常 務 執 行 役 員	品 田 耕 一
取 締 役	田 中 克 司	執 行 役 員	秋 田 勉
取締役（ 社外取締役）※ ¹	尾 関 友 保	執 行 役 員	河 面 哲 生
常 勤 監 査 役	高 橋 英 也	執 行 役 員	緒 方 健 介
監査役（ 社外監査役）※ ²	永 野 義 一		
監査役（ 社外監査役）※ ²	坂 井 眞		
監査役（ 社外監査役）※ ²	廣 瀬 元 亮		

※ 1. 会社法第 2 条第 15 号に定める社外取締役です。
※ 2. 会社法第 2 条第 16 号に定める社外監査役です。

株主メモ

事業年度 4 月 1 日から翌年の 3 月 31 日まで
定 時 株 主 総 会 6 月に開催します。
基 準 日 定時株主総会については 3 月 31 日、その他必要があるときはあらかじめ公告する一定の日
配当金受領株主確定日 3 月 31 日及び中間配当金の支払いを行うときは 9 月 30 日
公 告 の 方 法 電子公告とします。但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載して行います。
株 主 名 簿 管 理 人 東京都港区芝三丁目 33 番 1 号 中央三井信託銀行株式会社
郵 便 物 送 付 先 〒 168-0063 東京都杉並区和泉二丁目 8 番 4 号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031（フリーダイヤル）
（ 電 話 照 会 先 ） 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店並びに日本証券代行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
■住所変更、単元未満株式買取・買増等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
■未払配当金の支払について
株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
■株主様のご住所・お名前に使用する文字に関するご案内
株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構（ほふり）が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。